

これからの総合診療医への期待

日時 10月12日 (月) 18時30分～19時30分

場所 順天堂大学医学部 (Zoomで中継)

司会 内藤 俊夫教授 順天堂大学医学部総合診療科学講座

参加無料 参加希望者はZoomのURLコードを送付します

申し込み <https://forms.gle/o9dHbxU8Ck3cKP3HA>



佐々江 龍一郎先生

NTT東日本 関東病院 総合診療科

日本人でありながら英国でGP(家庭医)として長く勤務された佐々江先生に自己の経験を通し、今後の日本における「総合診療医への期待」をお話しいたします。

プロフィール

12歳で渡英。2005年英国ノッティンガム大学医学部卒業後、家庭医療専門医の資格を取得し、約10年ロンドンで家庭医として活躍。チャレンジ好きで、2016年日本医師国家試験に合格し、2017年に帰国、NTT東日本関東病院総合診療科、国際診療科の医長として勤務している。医療従事者専門サイト『M3』に連載を持ち、『日経メディカル』や『日経新聞』などにも掲載経歴がある。

要約

日本は少子高齢化の流れの中、医療は過渡期にある。日本は国際的にも質の高い医療を提供し続ける一方、医療者への負担は増大しており、働き方改革と医療の持続性を両立していく必要がある。今後医療者の負担を少しでも軽減するのであれば「医療の効率化」、「質の標準化」、「優先順位」を度前向きに検討していく必要がある。

英国では日本同様の社会情勢のなか、総合診療医(GP)が医療資源の有効活用や地域の健康を継続的に守る役目を担っている。総合診療専門医(GP)を軸としたプライマリケア、デジタル医療の活用や公平な医療リソースの配分など、今後日本の医療においても参考になる点がある。

順天堂大学医学部総合診療科学講座

Department of General Medicine, Faculty of Medicine, Juntendo University

<http://www.juntendo-general.com/index.html>

Tel 03-5802-1190 Email jungmsym@googlegroups.com